

# 地域コミュニティ協議会の支援のあり方検討委員会 概要（速報版）

第5回	
日 時	平成 26 年 8 月 29 日（金）午前 10 時～午前 11 時 30 分
会 場	新潟市役所本館 6階 第 4 委員会室
出席者	委員 丸田座長，渡邊委員，細野委員，森委員，豊岡委員，田村委員， 棚村委員，岡本委員，若林委員，右近委員，新藤委員，富澤委員， 山賀委員，香田委員，河野委員
	事務局等 市民生活部長，市民生活部次長，市民協働課長補佐， 市民協働課係長ほか
傍聴者	11名（うち報道3名）
主な議題	<p>○ 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 丸田座長あいさつ</li> </ul> <p>○ 議題（1）地域コミュニティ協議会の支援のあり方検討（最終報告案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 事務局より資料1について，説明を行いました。</li> </ul> <p>＜主な意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミ協の位置づけの条例化を3年以内に検討とあるが，コミ協設立から9年も経っており，すぐやるべきである。</li> <li>・ コミ協の位置づけを自治基本条例に載せるのは反対である。単独条例を作ってはどうか。</li> <li>・ 運営体制の強化は短期でやってほしい。</li> <li>・ 全てのコミ協に事務局拠点を確保するため，公共施設等の活用に向けた庁内調整等を3年以内に実施とあるが，もっと短期でやるべきだと思う。</li> <li>・ 活動拠点の確保は短期でやってほしい。ただし，学校は管理面で難しいと思う。</li> <li>・ コミ協の理解度向上には事務局の強化が必要である。まずコミ協を信用して，拠点を作ることが大事である。</li> <li>・ コミ協の運営ハンドブックでなくても良いので，「ガイドライン」を示してほしい。</li> <li>・ コミ協の理解度向上のためにパンフレットを作っても役に立たないと思う。市報等に頻繁に掲載するほうが有効である。</li> <li>・ 人口減少や超高齢社会など行政では限界があることを，わかりやすく丁寧に説明しないと人材は出てこないと思う。</li> <li>・ 人材の登録制度も重要だが，すぐに採用できるような仕組みを作ってほしい。</li> <li>・ コミ協事例発表会は準備や参加するのが大変なので，活動事例集を活用するほうが良いと思う。</li> <li>・ 人材や財源など課題があり，平成27年度に間に合うのか。</li> <li>・ 補助制度に係る部分がかかり占めており，コミ協の次年度事業計画に間に合うようにしてほしい。</li> <li>・ 区自治協議会の記載がなくなってしまった。「市民→コミ協→区自治協議会→行政」という地域課題の基本的な流れを示してほしい。</li> <li>・ 雇用に係る税務処理に対する研修が必要だと思う。</li> <li>・ 地域の年齢別人口を把握し，5年後，10年後を知ることによって活動ができると思う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 事務局より資料2について，説明を行いました。</li> </ul> <p>＜地域コミュニティ協議会の支援のあり方検討委員会報告書（案）について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討委員会報告書（案）をもとに本日の意見を踏まえ，座長が市へ提出することで，了解が得られた。</li> </ul>

○ 閉会

会議資料

□次 第

□資 料 1：地域コミュニティ協議会の支援のあり方検討（最終報告案）

□資 料 2：地域コミュニティ協議会の支援のあり方検討委員会 報告書（案）

□参考資料1：第4回検討委員会の意見

※ 詳細については、後日、改めて掲載いたします。